

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	省エネ・再生可能エネルギー導入推進事業	NO.	98
担当所属	環境管理課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	5. 環境	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	1. 環境保全	会計区分	一般会計
	方向性	(1) 地球温暖化対策の推進	新規事業	
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	市域全体の温室効果ガス削減のため、地球温暖化対策実行計画に基づくアクションプランにより、各取組を推進します。また、省エネルギー設備や再生可能エネルギー設備の導入など、脱炭素化を促進する事業に対し、県費を活用し、補助金を交付します。
------	---

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	市域から発生する温室効果ガスの排出量を削減する。 地球温暖化により回避できない気候変動へ対応するための適応策を推進する。
対象 (誰・何を対象として)	市域全体 市民、事業者 居住用住宅に再生可能エネルギー設備等を設置する者
手段 (どのようなやり方で)	再生可能エネルギー設備等を設置する市民に補助金を交付する。 温室効果ガス削減の取り組みや啓発活動を行う。 市域全体の温室効果ガス削減のため、アクションプランを策定し、推進する。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	省エネ行動の実行や再生可能エネルギーの普及により、温室効果ガスの排出が抑制される。 地球温暖化による気候変動の影響を回避・軽減しながら、市民生活や事業が継続される。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	住宅用設備等の脱炭素化促進のための補助金交付 営農型太陽光発電の調査研究 イベント開催等普及啓発事業の実施 気候変動適応に関する普及啓発の実施	住宅用設備等の脱炭素化促進のための補助金交付 営農型太陽光発電の調査研究 イベント開催等普及啓発事業の実施 気候変動適応に関する普及啓発の実施	住宅用設備等の脱炭素化促進のための補助金交付 営農型太陽光発電の検討 イベント開催等普及啓発事業の実施 気候変動適応に関する普及啓発の実施

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① 補助金交付件数	件	100 (R6)	100	100	100	100 (R10)
	②						
	③						
活動指標	① 制度の周知の実施回数	回	4 (R6)	4	4	4	4 (R10)
	② 温室効果ガス削減の啓発回数	回	2 (R6)	2	2	2	2 (R10)
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度 合計
事業費	9,474	9,446	9,446	25,946	44,838
一般財源	114	86	86	8,336	8,508
特定財源	9,360	9,360	9,360	17,610	36,330

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	公共施設カーボンニュートラル推進事業	NO.	99
担当所属	環境管理課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	5. 環境	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	1. 環境保全	会計区分	一般会計
	方向性	(1) 地球温暖化対策の推進	新規事業	
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	地球温暖化の防止対策を進めるため、市が率先して温室効果ガス削減に取り組みます。 市域全体の温室効果ガス削減のため、地球温暖化対策実行計画に基づくアクションプランにより、各取組を推進します。
------	---

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	市の事務事業により発生する温室効果ガス排出量を削減する。
対象 (誰・何を対象として)	職員、市有公共施設
手段 (どのようなやり方で)	エネルギーの使用を抑制するとともに、環境への負荷が少ない再生可能エネルギーの利用を促進する。 毎年度、市の事務事業により発生する温室効果ガス排出量を算出する。 市域全体の温室効果ガス削減のため、アクションプランを策定し、推進する。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	市が率先して省エネ行動の実行や再生可能エネルギーを導入することにより、温室効果ガスの排出が抑制されるとともに、市民、事業者等への模範となる。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	市所管施設の温室効果ガス排出量算出 地球温暖化対策実行計画アクションプランの推進 職員研修の実施 公共施設の脱炭素化検討	市所管施設の温室効果ガス排出量算出 地球温暖化対策実行計画アクションプランの推進 職員研修の実施 公共施設の脱炭素化検討	市所管施設の温室効果ガス排出量算出 地球温暖化対策実行計画アクションプランの推進 職員研修の実施 公共施設の脱炭素化検討

【評価指標】

		名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	①	市内公共施設の温室効果ガス排出量	t	7,064 (R6)	6,277	6,053	5,830	5,383 (R12)
	②							
	③							
活動指標	①							
	②							
	③							

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度 合計
事業費	408	380	1,181	16,181	17,742
一般財源	408	380	1,181	6,181	7,742
特定財源	0	0	0	10,000	10,000

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	快適で安全に生活できる環境の維持	NO.	100
担当所属	環境管理課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	5. 環境	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	1. 環境保全	会計区分	一般会計
	方向性	(2) 快適で安全に生活できる環境の維持	新規事業	
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	市内の大気・水質等の環境の状況を把握するため、定期的に調査するとともに、発生源における調査を行い、法令等の遵守状況を確認します。
------	--

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	市内5か所に設置された大気環境監視測定局により大気環境の状況を的確に把握する。 市内の公共水域の水質を定期的に調査する。
対象 (誰・何を対象として)	市内全域
手段 (どのようなやり方で)	大気環境監視機器については老朽化を考慮し計画的に更新する。 その他環境調査については、環境計量事業者への委託により成果を得る。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	監視機器を計画的に更新することで故障による測定不能を予防し、環境状況を的確に把握することができる。 市内の大気・水質等の状況を把握することで、快適で安全に生活できる環境の維持が図られていることを示すことができる。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	測定機器の計画的更新 定期水質調査等の継続実施 測定局・測定機器の配置、環境測定の実施 範囲等の検討	測定機器の計画的更新 定期水質調査等の継続実施 測定局・測定機器の配置、環境測定の実施 範囲等の検討	測定機器の計画的更新 定期水質調査等の継続実施 測定局・測定機器の配置、環境測定の実施 範囲等の検討

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① 測定時間達成局率（年間6千時間）	%	100 (R6)	100	100	100	100 (R10)
	② 環境基準達成率（大気・水質）	%	72.7 (R6)	80.0	80.0	80.0	80 (R10)
	③ 地域の空気や水がきれいだと感じる割合	%	58.8 (R6)	60.0	62.5	65.0	65 (R10)
活動指標	① 大気環境自動測定器による測定項目数	項目	34 (R6)	33	33	33	33 (R10)
	② 大気及び水質測定地点数	地点	59 (R6)	59	59	55	55 (R10)
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度合計
事業費	44,904	36,459	42,824	42,612	121,895
一般財源	44,904	36,459	42,824	42,612	121,895
特定財源	0	0	0	0	0

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	自然環境保全事業	NO.	101
担当所属	環境管理課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	5. 環境	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	1. 環境保全	会計区分	一般会計
	方向性	(3) 自然環境の保全と共生	新規事業	
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	身近な緑、豊かな自然環境を保全し、安らぎのあるまちづくりを目指します。一定規模以上の進出事業所に対して、一定割合の緑化の義務付けを行い、緑地の確保に努めます。鳥獣保護を図るとともに、特定外来生物等の捕獲・駆除を行います。また、生活被害・農業被害問わず鳥獣被害の組織横断的な体制強化を検討します。
------	---

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	市内の緑や生態系を守り、市民へ自然と触れ合える場を提供する。
対象 (誰・何を対象として)	市民、水と緑の里（しいのもり、蔵波小鳥の森）、保存樹木・樹林所有者、緑化協定締結事業者 等
手段 (どのようなやり方で)	保存樹木・樹林の所有者に対して、補助金の交付を行う。 一定規模以上の開発や事業所の建設時に緑化協定の締結による緑地を推進及び保全する。 鳥獣保護を図ると共に、特定外来生物の捕獲・駆除を行う。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	市民が自然に親しみつつ、自然のもたらす恩恵を享受できる場所を提供できる。 特定外来生物等を捕獲・駆除して生態系の保全と生活被害を抑えることができる。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	蔵波小鳥の森の維持管理 保存樹木・樹林補助金の交付 緑化協定の締結 特定外来生物の駆除 生物多様性地域戦略に関する調査研究	蔵波小鳥の森の維持管理 保存樹木・樹林補助金の交付 緑化協定の締結 特定外来生物の駆除 生物多様性地域戦略策定に関する調査研究	蔵波小鳥の森の維持管理 保存樹木・樹林補助金の交付 緑化協定の締結 特定外来生物の駆除 生物多様性地域戦略策定に向けた市内の生態調査等

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① アライグマ・ハクビシン捕獲効率(CPUE)	—	0.52 (R6)	0.53	0.54	0.55	0.55 (R10)
	②						
	③						
活動指標	① 外来生物に関する周知回数	回	0 (R6)	1	1	2	2 (R10)
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度合計
事業費	7,369	7,036	7,036	8,686	22,758
一般財源	6,944	6,621	6,621	8,271	21,513
特定財源	425	415	415	415	1,245

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	市民参加による環境保全活動の推進	NO.	102
担当所属	環境管理課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	5. 環境	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	1. 環境保全	会計区分	一般会計
	方向性	(4) 環境保全意識の向上	新規事業	
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	市民が環境に対する理解と知識を深めるため、環境保全活動等の機会を創出し、市民等の参加を促進します。
------	---

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	市民や企業と協働して、美化活動を行うことにより、ごみのない清潔で美しいまちづくりを目指す。 花いっぱい運動による花の種の配布等により、美しいまちづくりを目指す。 自然環境保全緑地の維持管理により豊かな自然を保全する。
対象 (誰・何を対象として)	市内全域 市民、事業者
手段 (どのようなやり方で)	市民や企業と協働して、清掃活動（市内一斉清掃、臨海地区清掃）、空き缶等のポイ捨て防止啓発活動を行うほか、広報活動、積極的な啓発看板の設置などによる啓発活動を実施する。 自然環境保全緑地の維持管理をボランティアと協働で行う。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	市民参加による清掃や空き缶等のポイ捨て防止啓発活動等を通じて、市民の環境美化に対する意識の高揚と地域に対する愛着の増進を図り、美観の保護・環境美化の推進に寄与する。 市民自らが環境にやさしい取組みを実施する。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	協働による清掃活動・ポイ捨て防止啓発活動・市内一斉清掃等の実施 しいのもり自然環境緑地の適正な整備 自然散策会・環境学習講座等の拡充 SNS等を活用した美化活動等の検討	協働による清掃活動・ポイ捨て防止啓発活動・市内一斉清掃等の実施 しいのもり自然環境緑地の適正な整備 自然散策会・環境学習講座等の拡充 SNS等を活用した美化活動等の実施	協働による清掃活動・ポイ捨て防止啓発活動・市内一斉清掃等の実施 しいのもり自然環境緑地の適正な整備 自然散策会・環境学習講座等の拡充 SNS等を活用した美化活動等の実施

【評価指標】

名称		単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① ポイ捨てゴミ収集量	t	60 (R6)	65	65	65	65 (R10)
	② 環境学習講座等の参加人数	件	166 (R6)	168	168	170	170 (R10)
	③						
活動指標	① 市内一斉清掃・臨海地区清掃・ポイ捨て防止啓発活動回数	回	8 (R6)	8	8	8	8 (R10)
	② 散乱ゴミ収集	回	36 (R6)	36	36	36	36 (R10)
	③ ごみ拾いボランティアの活動回数	回	35 (R6)	37	39	41	41 (R10)

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度合計
事業費	4,058	3,956	4,119	3,951	12,026
一般財源	4,058	3,956	4,119	3,951	12,026
特定財源	0	0	0	0	0

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	ごみ減量化推進事業	NO.	103
担当所属	廃棄物対策課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	5. 環境	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	2. 廃棄物・リサイクル	会計区分	一般会計
	方向性	(1) ごみの減量化・再資源化の推進	新規事業	
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	ごみ最終処分量の減量化を図るため、ごみ減量化の普及啓発を行うとともに、ごみ処理の総合的な見直しの検討を行います。
------	--

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	ごみ減量化に向けた啓発や取組を展開し、ごみを出さない生活への転換を図ることで、環境にやさしく持続可能な形で資源を利用する循環型社会づくりを推進する。
対象 (誰・何を対象として)	市民・事業者
手段 (どのようなやり方で)	ごみ減量化の普及啓発、事業者へのごみ減量化指導の徹底及びごみ処理の総合的な見直し
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	ごみの減量化によりごみ総排出量の減量化を図る。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	ごみ減量化の普及啓発 事業者へのごみ減量化指導の徹底 ごみ処理の総合的な見直しの検討	ごみ減量化の普及啓発 事業者へのごみ減量化指導の徹底 ごみ処理の総合的な見直しの準備	ごみ減量化の普及啓発 事業者へのごみ減量化指導の徹底 ごみ処理の総合的な見直しの実施

【評価指標】

		名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	①	ごみ総排出量	t	20,261 (R6)	20,062	19,963	19,863	19,863 (R10)
	②	1人1日あたりの家庭系ごみ排出量(資源物を除く)	g	513 (R6)	495	485	476	476 (R10)
	③	事業系ごみ排出量	t	4,715 (R6)	4,689	4,676	4,663	4,663 (R10)
活動指標	①	広報掲載回数	回	14 (R6)	14	14	14	14 (R10)
	②	講座等の開催	回	3 (R6)	3	3	3	3 (R10)
	③							

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度 合計
事業費	48,645	68,147	57,912	57,912	183,912
一般財源	0	4,534	0	0	4,534
特定財源	48,645	63,613	57,912	57,912	179,437

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	ごみ資源化推進事業	NO.	104
担当所属	廃棄物対策課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	5. 環境	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	2. 廃棄物・リサイクル	会計区分	一般会計
	方向性	(1) ごみの減量化・再資源化の推進	新規事業	
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	資源循環を推進するため、排出時点での分別を啓発するとともに、資源化対象品目の拡大の検討を行います。
------	---

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	ごみの資源化に向けた啓発や取組を展開し、3R型ライフスタイルの構築を図ることで、資源循環を推進する。
対象 (誰・何を対象として)	市民、地域
手段 (どのようなやり方で)	ごみ資源化の普及啓発 排出時点での分別推進（生ごみ、剪定枝等の排出抑制）
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	ごみの資源化を推進するとともに、最終処分が必要なごみの減量化を図る。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	生ごみ・剪定枝等の排出抑制 資源回収実施団体への支援 プラスチックリサイクルの調査・検討 資源化対象品目拡大の調査・検討・実施 子ども服リユースの実施、雑がみ回収ボックスの設置	生ごみ・剪定枝等の排出抑制 資源回収実施団体への支援 プラスチックリサイクルの調査・検討 資源化対象品目拡大の調査・検討・実施 子ども服リユースの実施、雑がみ回収ボックスの設置	生ごみ・剪定枝等の排出抑制 資源回収実施団体への支援 プラスチックリサイクルの実施 資源化対象品目拡大の調査・検討・実施 子ども服リユースの実施、雑がみ回収ボックスの設置

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① 資源回収自治会事業実施団体数	団体	115 (R6)	118	118	119	119 (R10)
	② ごみ総排出量におけるリサイクル率	%	24.9 (R6)	25.1	25.2	25.3	25.3 (R10)
	③						
活動指標	① 資源回収自治会事業未実施地区への啓発回覧	回	1 (R6)	1	1	1	1 (R10)
	② プラスチック一括回収リサイクルの実施	t	0 (R6)	0	0	450	450 (R10)
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度合計
事業費	70,753	71,652	78,764	135,356	285,772
一般財源	41,986	45,215	52,327	108,919	206,461
特定財源	28,767	26,437	26,437	26,437	79,311

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	ごみ処理施設等長寿命化事業	NO.	105
担当所属	廃棄物対策課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	5. 環境	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	2. 廃棄物・リサイクル	会計区分	一般会計
	方向性	(2) ごみ処理の適正化	新規事業	
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	老朽化により維持管理費用が増大している各施設の長寿命化工事を計画的に実施することにより、ランニングコストの平準化と長寿命化を図ります。
------	---

【事業概要】

目的事業概要 (何のために)	老朽化が進行している各施設の長寿命化工事を計画的に行うことで、ランニングコストの平準化と各施設の長寿命化を図る。
対象 (誰・何を対象として)	袖ヶ浦クリーンセンターごみ処理施設 (H1稼働)、粗大ごみ処理施設 (H1稼働)、し尿処理施設 (H4稼働) 及び最終処分場浸出液処理施設 (H1稼働)
手段 (どのようなやり方で)	老朽化した各施設の長寿命化工事を実施する。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	ランニングコストの平準化を図るとともに、安定的かつ継続的なごみ処理を実現する。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	各施設の長寿命化工事の実施	各施設の長寿命化工事の実施	各施設の長寿命化工事の実施

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	①						
	②						
	③						
活動指標	①	ごみ処理施設等の長寿命化工事の実施	箇所	9 (R6)	11	11	11 (R10)
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度合計
事業費	29,370	35,880	35,880	35,880	107,640
一般財源	29,370	35,880	35,880	35,880	107,640
特定財源	0	0	0	0	0

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	次期広域廃棄物処理事業	NO.	106
担当所属	廃棄物対策課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	5. 環境	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	2. 廃棄物・リサイクル	会計区分	一般会計
	方向性	(2) ごみ処理の適正化	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	君津地域4市（袖ヶ浦市・木更津市・君津市・富津市）の一般廃棄物は、(株)かずさクリーンシステムで中間処理を行っていますが、令和8年度末に事業終了となるため、9年度からの次期広域廃棄物処理施設の整備を進めます。次期広域廃棄物処理事業は、安房地域2市1町（鴨川市・南房総市・鋸南町）も参加した6市1町で共同して事業を進め、事業方式はPFI法のBOO方式で実施します。
------	---

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	次期広域廃棄物処理施設の整備を実施し、安定的かつ継続的なごみの処理を行う。
対象 (誰・何を対象として)	次期広域廃棄物処理施設
手段 (どのようなやり方で)	君津地域及び安房地域の6市1町で、広域連携の組織として協議会を設置し、事務を共同して管理・執行する。事業方式はPFI法のBOO方式で実施する。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	安定的かつ継続的なごみの処理により、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	土木建築工事完了 プラント工事完了 試運転 竣工	操業開始	施設稼働

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	①						
	②						
	③						
活動指標	①	広域廃棄物処理事業6市1町部課長会議開催回数	回	4 (R6)	4	4	4 (R10)
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度 合計
事業費	2,773	2,786	2,786	2,786	8,358
一般財源	2,773	2,786	2,786	2,786	8,358
特定財源	0	0	0	0	0

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	合併処理浄化槽設置補助事業	NO.	107
担当所属	廃棄物対策課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	5. 環境	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	2. 廃棄物・リサイクル	会計区分	一般会計
	方向性	(3) し尿処理の適正化	新規事業	
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	河川等の公共用水域の水質保全を図るため、単独処理浄化槽等の使用者に対して合併処理浄化槽への転換を行うよう啓発に取り組むとともに、合併処理浄化槽設置への補助を行います。
------	---

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止する。
対象 (誰・何を対象として)	合併処理浄化槽の設置者
手段 (どのようなやり方で)	合併処理浄化槽の設置者に対して補助金を交付する。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	既存の単独処理浄化槽や汲み取り便所から、合併処理浄化槽への転換を促進し、公共用水域の水質汚濁を防止する。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	啓発活動 合併処理浄化槽設置の促進	啓発活動 合併処理浄化槽設置の促進	啓発活動 合併処理浄化槽設置の促進

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① 合併処理浄化槽の設置補助基数(新規)	基	8 (R6)	17	17	17	17 (R10)
	② 合併処理浄化槽の設置補助基数(転換)	基	4 (R6)	8	8	8	8 (R10)
	③						
活動指標	① 広報等による周知	回	2 (R6)	2	2	2	2 (R10)
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度 合計
事業費	9,995	9,995	9,795	9,795	29,585
一般財源	3,602	3,574	3,374	3,374	10,322
特定財源	6,393	6,421	6,421	6,421	19,263

第3期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	廃棄物・土砂対策事業	NO.	108
担当所属	廃棄物対策課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	5. 環境	事業期間	令和8年度 ~ 令和10年度
	施策	2. 廃棄物・リサイクル	会計区分	一般会計
	方向性	(4) 廃棄物の不法投棄等の防止	新規事業	
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	廃棄物の不法投棄や土砂等の埋め立て等による土壌汚染・災害発生を防止するための監視活動を行います。不法投棄等の事案が発生した場合は、関係機関等と連携して対処します。
------	---

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	廃棄物の不法投棄を防止するため監視活動を行う。 土砂等の埋め立て等による土壌汚染及び災害発生を防止するため監視活動を行う。 環境保全のため不法投棄箇所の安全確認等を行う。
対象 (誰・何を対象として)	廃棄物の不法投棄行為者及び不法投棄箇所
手段 (どのようなやり方で)	土砂等対策指導員及び不法投棄監視員等による市内パトロール
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	廃棄物の不法投棄や土砂等の埋め立て等による土壌汚染・災害発生を抑制・防止する。

【事業計画】

	R8年度	R9年度	R10年度
事業計画	市及び不法投棄監視員等によるパトロール活動 監視カメラ・不法投棄防止看板の設置	市及び不法投棄監視員等によるパトロール活動 監視カメラ・不法投棄防止看板の設置	市及び不法投棄監視員等によるパトロール活動 監視カメラ・不法投棄防止看板の設置

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R8年度	R9年度	R10年度	目標値
成果指標	① 不法投棄監視員によるパトロール巡回日数	日	270 (R6)	300	300	300	300 (R10)
	②						
	③						
活動指標	① 不法投棄監視員配置数	人	10 (R6)	10	10	10	10 (R10)
	② 不法投棄及び残土の違法埋立てにかかる啓発	回	2 (R6)	2	2	2	2 (R10)
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R8~R10年度 合計
事業費	9,590	9,950	10,080	10,080	30,110
一般財源	7,971	9,593	9,680	9,680	28,953
特定財源	1,619	357	400	400	1,157